

我が国の産業連関表を巡る最近の動き

■ 平成 28 年 10 月 21 日 経済財政諮問会議 有識者提出参考資料（抜粋）

経済統計等の現状と主な課題

【課題：各省等作成の加工統計、調査統計】

○産業連関表について、一般的な供給・使用表の枠組みに基づいていない

■ 平成 28 年 11 月 25 日 EBPM のニーズに対応する経済統計の諸問題に関する研究会三輪座長提出資料（抜粋）

(5) user-oriented なニーズ・要請の実現に向けた方策？

I O 表を作成し、これから SNA 基準年年次推計値を求め、これに基づき中間年年次推計値、さらに Q E を求めるという従来通りの方式を今後も維持するか？国際標準となりつつある supply-use tables(SUT) を毎年作成し、I O 表もここから適宜作成するという方式に移行しないのか？移行しない理由は何か？適切な判断か？

■ 平成 28 年 12 月 7 日 経済財政諮問会議 有識者議員提出資料（抜粋）

2. 政府全体の統計システムのガバナンス構築に向けて

【政府の実施機関の責任体制の強化】

- 統計委員会における統計改善に向けた勧告・フォローアップ機能、研究機能（例えば、生産面の GDP 統計の充実に資するよう、産業・商品ごとの生産・投入構造をより精緻に把握する枠組み）の強化

■ 平成 28 年 12 月 7 日 経済財政諮問会議 高市議員提出資料（抜粋）

経済統計改善の推進に向けた総務省・統計委員会の取組

3. 経済統計改善に資する府省横断的な取組み（総務省政策統括官室）

②産業連関表について、産業・商品ごとの生産・投入構造をより精緻に把握するための手法を検討

■ 平成 28 年 12 月 21 日 経済財政諮問会議 統計改革の基本方針（抜粋）

2. 具体的取組

(2) 府省横断的な統計整備の推進

② 生産面の GDP 統計の充実に資するよう、総務省は、産業連関表について、産業・商品ごとの生産・投入構造をより精緻に把握するための手法を検討する。